

## 1. センチュリーホール

原則としてほとんどの音響映像機器を初期整備で更新するが、事業期間中に不具合の発生した機器は、適宜修繕もしくは更新すること。

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
音響調整卓	デジタル式 40 フェーダ アナログ系入力 32ch デジタル系ステレオ入力 8 ch 24bitAD/DA コンバーター、 CPU コントロール卓、信号処理架、 DSP 架	1 式	既設同等以上で更新。 デジタル 40ch 程度。
サブ卓	アナログ式、入力モノ 16ch、ステレオ 4ch	1 台	既設同等で更新。 デジタル 16ch 程度。
移動式音源卓	EIA19”キャスター付収納架×2 カセットデッキ×2、MD デッキ×2、 CD デッキ×1、CDR デッキ×2、メ ディアレコーダー×1、グラフィック イコライザ等	1 式	既設同等で更新。但し、メディアは一 般的に流通している現況を反映させ ること。カセットデッキ、MD は不要 とする。
入出力パッチ架	EIA19”収納架(H2050)×2 入出力パッチ盤 XLR 型 AD/DA コンバータ、エキサイタ、ノ イズゲート等	1 式	既設同等で更新。 入出力パッチは、更新した調整卓、周 辺機器、コネクタ盤等に整合させる こと。その他の既設収納機器の代替 品は提案による。
舞台袖機器	MD デッキ、CD デッキ、CDR デッ キ、メディアレコーダー、グラフィッ クイコライザ等	1 式	既設同等で更新。但し、メディアは一 般的に流通している現況を反映させ ること。カセットデッキ、MD は不要 とする。ラックマウント型デジタル ミキサーを備えるか、メイン調整卓 のリモート機能を持たせること。
周辺機器架	EIA19”収納架×2 リバーブ、ディレイ、コンプリミッ タ、ノイズゲート、オーラルエキサイ タ、開演プザーユニット、場内音圧モ ニター等	1 式	既設同等で更新。
電力増幅架	A 600W+600W B 300W+300W C 150W+150W D 240W+240W E 120W+120W スピーカプロセッサ デジタルマルチイコライザ デジタ ルディレイライン PA モニター部 光変換架等	1 式	既設同等で更新。 EIA19 インチラック×6 本程度、プロ セッサ付パワーアンプ
プロセニアムスピーカ	ELECTRO VOICE 40° ×20° ファーフィールド 6 台 18 インチベースボックス 4 台 60° ×40° ハーフサイズ 3 台 18 インチベースハーフボックス 2 台	1 式	指向性を考慮して更新。 小型のラインアレイとサブウーハー で構成し、反射板設置時(プロセニア ム上部が上がった状態)でも、3 階席 まで届くようなシステムとすること。 採用するフルレンジの機種として は、下記程度とする。 JBL VT4887A

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
			Lacoustics KIVA
サイドスピーカ(上手、下手)	ELECTRO VOICE 60° × 40° ハーフサイズ 3 対 18 インチベースハーフボックス 3 対 ネットワーク式 90° × 40° 1 対	1 式	既設同等で更新。 上手、下手計 2 組、ラインアレイ 2 ウェイ程度、1 階席近傍から 3 階席までカバーする構成とすること。
モニタースピーカ	ラージスピーカ×2 スモールモニタースピーカ×2	1 式	既設同等で更新。 パワードスピーカも可とする。
固定はね返りスピーカ	2 ウェイパフレスタイプ : RAMSA A-300×2、EV SX-300×2	1 式	既設同等で更新。 2 ウェイ 1 ボックス型×4
ステージフロントスピーカ	同軸 2 ウェイスピーカ×6	1 式	既設同等で更新。
移動用スピーカ	ステージ用 A セット×1 対 : EV3 ウェイ 1 ボックス+サブロー ステージ用 B セット×2 対 : EV ミッドハイ+サブロー スタンドスピーカ×4 : 2 ウェイスタンド付 EV SX-300 フロアモニタースピーカ×4 : EV SH1810 小型モニタースピーカ×3 : BOSE101、2 台はアンプ付	1 式	既設同等で更新。 パワードも可とする。
運営系スピーカ	天井埋込型、フルレンジ	1 式	既設同等で更新。
エアモニターマイク	ショットガン方式、ショックマウント型設置パネル×2 組	1 式	既設同等で更新。
3 点吊りマイク装置	電動式、リモコン付	1 式	既設同等で更新。 デジタル式、位置設定機能付
エレベータマイク装置	油圧式、上手、中央、下手の 3 基	1 式	既設使用とする。
ワイヤレスマイク	1.2GHz A 帯受信器 4ch ハンド型×4、ピン型×4 800MHzB 帯受信器 4ch ハンド型×4、ピン型×4 各アンテナ共	1 式	A 帯は既設同等で更新、B 帯は合計 6ch で更新とする。 スプリアス規定により更新済みの 800MHzB 帯送信機は、既設流用とする。
マイクロホン	ダイナミックマイク SHURE SM57-LCE×12 SHURE SM58-LCE×10 SHURE SM58SE(スイッチ付)×3 RAMSA WN-808OF×6 RAMSA WM-8000×4 BEYER M500TG×7 SENNHEISER MD421U×2 SENNHEISER MD441U×4 コンデンサーマイク AKG SE300B+CK91×5 組 AKG VR91×9 AKG CK98×4 AKG C414B×2 AKG C414ULS×1 SONY C-38B×7 SONY ECM-55S バウンダリーマイク CROWN PZM-30RG×4	1 式	既設同等で更新し、合計 80 本を確保すること。
スタンド	高砂 MF-18M6×10	1 式	既設同等で更新。

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
	高砂 MF-18TM×9 高砂 MF-22TM×4 高砂 MF213×4 高砂 MS-28×10 高砂 MS-404×1 SUGIPURODUCTS DS-31M×3 AKG ST305×6 K&M ST210×13 K&M ST259×10		
ケーブル類	マルチケーブル 24ch マルチボックス×7 中継ボックス×3 ドラム巻(30m)×2 10m×6、1m×2 先バラ 11C×2、先バラ 12C×1 マルチケーブル 8ch マルチボックス×5 30m(ドラム巻)×2 30m×1、10m×2 5m×3、2m×2 先バラ 11C×1、先バラ 12C×1 マイクケーブル 20m×10、15m×1、10m×25 5m×13、短×4 11C-11C×2、12C-12C×2 (以上音響倉庫) 10m×1、1.5m×8、1m×1 110号-11C×15 12C-2P×1 (以上音響機械室) スピーカケーブル 20m×2、10m×5、短×4(音響倉庫) 10m×2(ポータル上手下手) 30m×4(下手大臣) 立ち上げ×1(同上) 短×1(同上) 短×1(上手大臣) スピコン-XLR4×4 XLR4-XLR4×2 RCA ピンプラグケーブル W-W×3、S-S×2、S-2P×2 RCA×3-BNC+RCA×2 W-12C 変換×3、W-11C 変換×1 W-12CW 変換×1、W-1C 変換×1 RCA-12C(10m)×2(ホワイト) BNC プラグケーブル 20m×1、10m×1 ミニプラグケーブル ステレオ-12C×3 ステレオ-RCA ピン×2	1式	既設同等で更新。
その他	ダイレクトボックス×6 変換ボックス×11 パラボックス×3	1式	既設同等で更新。

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
	パワーサプライ×1 カフボックス×3		
運営系 ITV 設備	回転台 ズームレンズ 電源部	1 式	既設同等で更新。 舞台暗視機能付
インカム装置	ベルトパック×12 リモートステーション×1 ヘッドセット片耳×6、両耳×2 インカムケーブル 20m×11、10m×14(音響倉庫) 20m×1、10m×1 (操作盤) 10m×2(調光室) 10m×6、5m×1(ピンルーム)	1 式	既設同等で更新。

## 2. イベントホール

原則としてほとんどの音響映像機器を初期整備で更新するが、事業期間中に不具合の発生した機器は、適宜修繕もしくは更新すること。

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
音響調整卓	AD/DA : 24bit サンプリング周波数 48kHz AES/EBU : 8 イン 8 アウト 入力 : モノ 20ch + ステレオ 8ch	1 式	既設同等で更新。 デジタル 20ch 程度
サブ卓	サブ卓 1 : アナログ式、入力モノ 8ch、ステレオ 2ch サブ卓 2 : アナログ式、入力モノ 24ch	1 式	既設同等で更新。 デジタル 24ch 程度×1、 アナログ 12ch 程度×1
入出力パッチ架	音響卓用パッチ部、場内入出力パッチ部、音源用入出力パッチ部、ワイヤレス用パッチ部 : 各 XLR3P タイプ インカム親機 端子盤ユニット : 203R 端子 電源制御部 : 15A 電源連動×9 非連動×2 収納架 : EIA アルミダイキャスト 音源用接続盤 : 3 ステレオ録音、再生ボックス型 モニタースピーカー用電力増幅器 : 150W + 150W (8Ω) パッチケーブル : 11C-12C 1m、2m	1 式	既設同等で更新。
移動型簡易操作卓 1	デジタルミキサー : AD/DA 24bit サンプリング周波数 48kHz ワイヤレス受信、CD デッキ、カセットデッキ、MD デッキ、パワーアンプ	1 式	既設同等で更新。 但し、メディアは一般的に流通している現況を反映させること。カセットデッキ、MD は不要とする。 事業期間中に経年劣化した周辺機器は適宜更新すること。
移動型簡易操作卓 2	アナログミキサー : 入力モノ 6ch + ステレオ 6ch カセットデッキ、CD デッキ、ワイヤレス受信器、パワーアンプ	1 式	既設同等で更新。 但し、メディアは一般的に流通している現況を反映させること。カセットデッキ、MD は不要とする。 事業期間中に経年劣化した周辺機器は適宜更新すること。
出力架	EIA19" 収納架 × 6 (電源制御付) 出力架 1~2 : メインスピーカ用 200W × 9、500W × 9 出力架 3 : センタースピーカ用 300W + 300W × 2、600W + 600W × 5 出力架 4 : 運営系、コンセント用 300W + 300W × 3、600W + 600W × 2 出力架 5 : ウォールスピーカ用 スピーカプロセッサ × 2 600W × 4 出力架 6 : スピーカコントロール系 デジタルマルチプロセッサ × 9 デジタルイコライザ × 1	1 式	既設同等で更新。 マルチプロセッサ、パワーアンプ等は選定したスピーカに適したものとすること。 収納架の数は音響機械室内に納まる範囲で任意とする。

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
	グラフィックイコライザ×1 ミキシングユニット、インサーションパッチ部		
メインスピーカ	3ウェイコンポーネント型 L,C,R各1組 各アレイに舞台向きにはね返りスピーカ付	1式	既設同等で更新。 小型のラインアレイ型が望ましい。
センタースピーカ	クラスター構成 南北下向きスピーカ×3 2ウェイ定指向性 東西スピーカ×2 3ウェイ定指向性 サブウーハー×2 12インチ×2	1式	既設同等で更新。 2ウェイラインアレイ型で中央より室全体をカバーすること。サブウーハー×2台程度
ウォールスピーカ	フルレンジアレイスピーカ×12 BOSE 502AW	1式	既設同等で更新。
主催者控室スピーカ	2ウェイバスレフ型(トランス内蔵)×2	1式	既設同等で更新。
調光室スピーカ	フルレンジスピーカ(小型アンプ付)×1 : BOSE 101MM+1706 II	1式	既設同等で更新。
移動用スピーカ	ステージ用A×1対 : MEYER UPJ-1P&G50P ステージ用B×4 : EV SH-1810 はね返りスピーカ×5 : RAMSA WS-9200A スタンドスピーカ×2 : RAMSA WS-A200(スタンド付)	1式	既設同等で更新。 パワーも可とする。
エアモニターマイク	ショットガン方式、ショックマウント型設置パネル×2組	1式	既設同等で更新。
ワイヤレスマイク	1.2GHz A帯受信器 ハンド型×2、ピン型×2 800MHz B帯受信器 ハンド型×4、ピン型×4 各アンテナ共	1式	既設同等で更新。 スプリアス規定により更新済みの800MHz B帯送信機は、既設流用とする。
マイクロホン	ダイナミックマイク SHURE SM58SE(スイッチ付)×10 RAMSA WN-D65×1	1式	既設同等で更新。
スタンド	高砂 MF-18TM×2 高砂 MS-404×4 RAMSA WN-5100B×1 RAMSA WN-5120×2 RAMSA WN-5300×1 SONY A-12C×2 AKG ST305×2 K&M ST210×15 フレキシブル 長×3、短×2	1式	卓上スタンド×8 フロアスタンド×8 ブームスタンド×8 を更新すること。
ケーブル類	マルチケーブル 24ch マルチボックス×2 中継ボックス×1 チャンネル変換ボックス×4 ドラム巻(30m)×2	1式	既設同等で更新。

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
	<p>10m×2 先バラ 11C×2、先バラ 12C×2 マルチケーブル 8ch マルチボックス（貫通）×2 マルチボックス（メス）×2 30m×1、10m×1 先バラ 11C×1、先バラ 12C×1 マイクケーブル等 （外倉庫） 11C-12C：30m×2、20m×3、 10m×3、7m×1、5m×4、3m×1、 2m×2、1.5m×8、1m×4 12C-12C(1m)×6 12C-2P(1m)×1 （第2控室内ワゴン卓） 11C-12C(5m)×2、 12C-12C(1m)×3 11C-RCA(1m)2又×1 （北西角ワゴン卓） 11C-12C(0.2m)×3 BNC-BNC(10m)×2 （センターステージ下） 11C-12C(10m)×2 （操作盤） 11C-12C(10m)×1 （クルー控室） ステレオミニ-RCA×2又×1 （UPJ ボックス内） 11C-12C：立ち上げ×8 20m×3 12C-12C(20m)×2 スピーカケーブル （外倉庫）10m×2 （UPJ ボックス内） スピコン-平行×6 電源ケーブル （外倉庫） 30C-30C(10m)×3 30C-平行(2又)×1 30C-平行(S)×1 平行延長×3 （UPJ ボックス内） 30C-平行×1 30C-平行 2又×1 30C-平行 3又×2 ツイスト-平行(短)×2 ツイスト-平行(長)</p>		
インカム装置	<p>ベルトバック×5 SP ステーション×1 ヘッドセット片耳×6、 パラボックス×2</p>	1式	既設同等で更新。

### 3. 白鳥ホール

原則としてほとんどの音響映像機器を初期整備で更新するが、事業期間中に不具合の発生した機器は、適宜修繕もしくは更新すること。

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
音響調整卓 (メイン、サブ)	デジタル式 AD/DA 24bit サンプリング周波数 48kHz 入力：20 モノ、6 ステレオ 出力：16 ミックス、8 マトリクス	2 台	既設同等で更新。
音響機器収納架	EIA19”収納架×2 音声入力パッチ部 ワイヤレス受信器、アンテナ混合分配器組込	1 式	既設同等で更新。
周辺機器卓	CD プレーヤ、カセットデッキ リバーブ等	1 式	既設同等で更新。 但し、メディアは一般的に流通している現況を反映させること。カセットデッキ、MD は不要とする。
ワゴン卓 1	デジタルミキサー 入力 12 出力：8 プロセッサ内蔵型 MD レコーダー CD プレーヤ ダブルカセットデッキ DVD レコーダー パッチ部	2 組	既設同等で更新。 但し、メディアは一般的に流通している現況を反映させること。カセットデッキ、MD は不要とする。
音響アンプ架	4ch パワーアンプ×8 2ch パワーアンプ×1 ハイインピーダンスアンプ×1 デジタルマルチプロセッサ×10 デジタルマルチイコライザ×2 グラフィックイコライザ×6 パターンコントローラー×1 入力マトリクス部 CPU コントローラ制御部×1 同時通訳パッチ部×1 インサージョンパッチ×3 出力制御部×3 電源制御ユニット×5 端子盤ユニット×3 EIA19”機器収納架×3	1 式	既設同等で更新。 パワーアンプはプロセッサ内蔵型も可とする。
入出力パッチ架	ワイヤレス混合分配器×2 ワイヤレス受信機×4 舞台 IN・OUT パッチ部×1 卓 IN・OUT パッチ部×1 インカムパワーサブライ×1 主電源ユニット×1 端子盤ユニ×1 ット 機器収納架×1	1 式	既設同等で更新。
スピーカ類	天井埋込スピーカ×32 ：2 ウェイフルレンジ はね返り・ロビースピーカー×4 ：2 ウェイフルレンジ	1 式	既設同等で更新。
移動用スピーカ	ステージ用×1 対 ：MEYER UPJ-1P&500HP はね返りスピーカ×5	1 式	既設同等で更新。 パワードも可とする。

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
	: RAMSA WS-9200A スタンドスピーカ A×3 : EV SX-200(スタンド付) スタンドスピーカ B×4 : EV SX-300(スタンド付) スタンドスピーカ C×2 : RAMSA WS-A200(スタンド付) フロアモニタースピーカ×4 : RAMSA WS-9200A ポータブルアンプ×1		
エアモニターマイク	ショットガン方式、ショックマウント型設置パネル×4組	1式	既設同等で更新。
ワイヤレスマイク	1.2GHz A帯受信器 4ch ハンド型×4、ピン型×4 800MHzB帯受信器 4ch ハンド型×4、ピン型×4 各アンテナ共	1式	既設同等で更新。 スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用とする。
マイクロホン	ダイナミックマイク SHURE SM57-LCE×10 SHURE SM58-LCE×19 SHURE SM58SE(スイッチ付)×2 RAMSA WM-8000×3 コンデンサーマイク AKG VR91×2	1式	既設同等で更新。
マイクスタンド	高砂 MF-18TM×8 高砂 MS-28×8 NATIONAL WN-430×6 NATIONAL WN-172×6 SUGIPRODUCTS DS-31M×8 SUGIPRODUCTS 卓上ストレート×4 AKG ST305×9 K&M ST210×10 K&M ST259×2	1式	既設同等で更新。
ケーブル類	マルチケーブル 8ch マルチボックス (貫通) ×7 マルチボックス (メス) ×2 30m ドラム×1、10m×4 5m×2 マイクケーブル等 (倉庫) 11C-12C : 20m×28、10m×20 5m×11 12C-12C×6、11C-11C×6 2P-2P×3、12C-RCA×3 (アンブルーム) 11C-12C : 立ち上げ×35 11C-11C×14、12C-12C×8 2P-2P×7、11C-2P×13 12C-2P×14 12C-RCA×4、11C-RCA×3 (UPJ ボックス内) 11C-12C : 20m×3、立ち上げ×6	1式	既設同等で更新。

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
	(クルー控室) ステレオミニ-RCA2 又×5 11C-ステレオミニ×3 スピーカケーブル (UPJ ボックス内) スピコン-平行×6 電源ケーブル (UPJ ボックス内) 30C-平行(2 又)×4		
その他	ダイレクトボックス×2 変換ボックス×1 パラボックス×5 カフボックス×4	1 式	既設同等で更新。
インカム装置	ベルトパック×10 リモートステーション×5 ヘッドセット片耳×12、両耳×5 ハンドマイク×5	1 式	既設同等で更新。
AV コンセント盤	8ch マルチコネクタ×1 XLR3×8、インカムコンセント スピーカコンセント	6 面	既設同等で更新。
会議ユニット接続盤	資料提示卓接続コネクタ インカムコンセント	2 面	既設同等で更新。

#### 4. 国際会議室

原則としてほとんどの音響映像機器を初期整備で更新するが、事業期間中に不具合の発生した機器は、適宜修繕もしくは更新すること。

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
音響調整卓	アナログ式 入力：12モノ、4ステレオ 出力：4グループ、6AUX、16マトリクス	1式	入力は20ch程度で更新すること。
機器収納架1	EIA19"収納架×4 音声入力パッチ部 デジタルマルチプロセッサ、GEQ パワーアンプ A 100W+100W 同 B 350W+350W 同 C 120W+120W ワイヤレス混合分配器 ワイヤレス受信機 出力パッチ、電源制御部	1式	既設同等以上で更新。 新設するスピーカ構成に見合った出力とすること。
光伝送装置収納架 機器収納架2	EIA19"収納架×7 HDモニターTV、HD映像分配器 映像入力パッチ部、BSチューナー コンバータ、変調器、VTR スイッチャー、LDプレーヤ 光伝送装置(映像、音声) 電源制御部	1式	光伝送装置は撤去。 映像に関する機能は提案による。
周辺機器卓	EIA19"収納架 (H=750) カセットデッキ、CDプレーヤ VTR、GEQ	1式	既設同等で更新。 但し、メディアは一般的に流通している現況を反映させること。カセットデッキ、VTRは不要とする。
ワゴン卓	アナログミキサー 入力モノ6ch+ステレオ6ch カセットデッキ CDプレーヤ、VTR(取り外し済み) 照明リモコン操作パネル 吊物等操作パネル ダイノックシート貼キャスト付収納卓	1式	既設同等で更新。 但し、ミキサーはデジタル型とし、メディアは一般的に流通している現況を反映させること。カセットデッキ、MD、VTRは不要とする。 照明リモコン操作パネルは舞台照明工事参照 吊物等操作パネルは舞台機構工事参照
メインスピーカ	2ウェイバスレフ型×2	1式	既設同等で更新。 会議場全体をカバーできるように設置すること。
はね返りスピーカ	移動式フロアモニター型 2ウェイ×2	1式	既設同等で更新。 固定式とすることも可とする。
モニタースピーカ	2ウェイブックシェルフ型×2 天井吊金具共	1式	既設同等で更新。 パワードも可とする。 バトン型の天井吊金具にクランプして位置、向きを適宜変えられること。
天井スピーカ	12cmフルレンジバスレフ型×20 マッチングトランス付	1式	既設同等で更新。 会議場全体をカバーするスピーカを前面に設ける場合は、省略も可とする。
天井スピーカ (運営系)	12cmフルレンジ×15 マッチングトランス付	1式	既設同等で更新。

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
移動用スピーカ	スタンドスピーカ :RAMSA WS-A200(スタンド付)×2 小型モニタースピーカ :BOSE 101MM(アンプ付)×1	1 式	既設同等で更新。
エアモニターマイク	ショットガン方式、ショックマウン ト型設置パネル×2組	1 式	既設同等で更新。
マイクロホン	ダイナミックマイク SHURE SM57-LCE×10 SHURE SM58-LCE×10 SHURE SM58SE(スイッチ付)×2 RAMSA WM-8000×6 コンデンサーマイク RAMSA WM-C30×1	1 式	既設同等で更新。
ワイヤレスマイク	800MHzB 帯受信器 4ch ハンド型×4、ピン型×4 各アンテナ共	1 式	既設同等で更新。 スプリアス規定により更新済みの 800MHzB 帯送信機は、既設流用とす る。
マイクスタンド	高砂 MF-22TM×6 高砂 MS-28×6 SUGIPRODUCTS DS-31M×4 AKG ST305×2 K&M ST210×10	1 式	既設同等で更新。
マイクケーブル	マルチケーブル 8ch マルチボックス (貫通) ×4 10m×2 マイクケーブル等 (倉庫) 11C-12C : 20m×20、10m×17 (アンブルーム) 11C-12C : 立ち上げ×44 11C-11C×14、12C-12C×8 RCA キヤノン 2 又×6 RCA-RCA×1 11C-2P×2、12C-2P×2 11C-3P×4、12C-3P×3 12C-RCA×5、11C-RCA×4 (調整室) 12C-12C×1、11C-11C×1 11C-12C : 7、11C-RCA×2 12C-RCA×1 ステレオミニ-RCA×1 12C-ステレオミニ×1 スピーカケーブル (倉庫)10m×4	1 式	既設同等で更新。
コンセント	AV コンセント盤×2 マイクコンセント×4 スピーカコンセント×2	1 式	既設同等で更新。
その他	トランスボックス×1 カフボックス×5 パラボックス×1	1 式	既設同等で更新。
インカム装置	ベルトパック×3 ヘッドセット(片耳)×3 インカムコネクタ、ケーブル共	1 式	既設同等で更新。

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
	(親機は機器収納架組込)		
HD ビデオプロジェクター	6管式高輝度プロジェクタ×2 反射ミラー×2 (ハイビジョン制御室)	1式	撤去。

## 5. レセプションホール

事業期間中に不具合の発生した機器は、適宜修繕もしくは更新すること。

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
機器ラック 1 (第1調整室)	EIA19"収納架×1 PLL ワイヤレス受信機 ダイバシティワイヤレス混合分配器 デジタルプロセッサ ミキシングユニット パターンリモコン ダブルカセットデッキ CD プレーヤ モニタースピーカ 4チャンネルパワーアンプ 入出力パッチ部 電源制御ユニット 出力制御部	1式	既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。 カセットは不要とする。
音響調整卓 (第1調整室)	アナログ式 入力：10マイク、4ライン、3AUX 16MIX、4グループ 出力：1ステレオ、4グループ、4AUX、 1REC、1モニター	1式	既設同等で更新。
機器ラック 2 (第2調整室)	EIA19"収納架×1 コンパクトミキサ入力 8ch ダブルカセットデッキ CD プレーヤ モニタースピーカ(パワーD) 入出力パッチ部 電源制御ユニット 出力制御部	1式	既設同等で更新。 但し、コンパクトミキサは入力 12ch程度とする。 また、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。 カセットは不要とする。
場内操作ワゴン	EIA19"キャスター付収納ワゴン コンパクトミキサ ダブルカセットデッキ CD プレーヤ 電源制御ユニット 接続パネル	2組	既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。 カセットは不要とする。
天井埋込スピーカ	2ウェイバスレフ型×12 20cm ウーハー+ホーンツイータ	1式	配管配線とも既設のままとする。 (2008年更新)
ジャック盤 A (第1調整室)	XLR3P×32、NK27×2	1面	配管配線とも既設のままとする。 (2008年更新)←要確認
ジャック盤 B (第2調整室)	XLR3P×16、NK27×2	1面	配管配線とも既設のままとする。 (2008年更新)←要確認
コンセント類	8ch マルチコンセント×4 8ch マルチボックス×4 マイクコンセント×8	1式	既設同等で更新。
有線マイクロホン	ダイナミック型カーディオイド ×14	1式	既設同等で更新。

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
ワイヤレスマイク	800MHzB 帯ハンド型×4 800MHzB 帯タイピン型×6 充電器セット×2	1 式	既設同等で更新。 但し、タイピン型は3本とする。 スプリアス規定により更新済みの 800MHzB 帯送信機は、既設流用とする。
マイクスタンド	卓上スタンド×12 フロアスタンド×10	1 式	既設同等で更新。
ケーブル	マイクケーブル 5m×12、10m×12、15m×12、20m×6 8ch マルチケーブル×6 立ち上げケーブル 0.5m×56、1.5m×10、2m×4、3m×10 変換ケーブル キャノン オス-オス×5、メス-オス ×4 キャノンオス-RCA ステレオ×1 キャノンオス-ST 標準プラグ×4 キャノンメス-ST 標準プラグ×8	1 式	既設同等で更新。

## 6. 諸会議室

事業期間中に不具合の発生した機器は、適宜修繕もしくは更新すること。

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
1号館 3F 131+132、133+134 会議室 機器	操作ワゴン×2 天井埋込スピーカー×8 ジャック盤 C×1 (131) ジャック盤 D×1 (134) サブミキサ×2 マルチコンセント×1 マルチボックス×1 マイクコンセント×7 C帯ワイヤレスマイクハンド×2 C帯ワイヤレスマイクタイピン×2 B帯ワイヤレスマイクハンド×4 B帯ワイヤレスマイクタイピン×4 ワイヤレスアンテナ×4 有線マイク×14 スタンド 卓上×12、フロア×10 8ch マルチケーブル(10m)×1 マイクケーブル (5m×6、10m× 15、15m×13、20m×2) パッチケーブル(2m)×24 変換ケーブル各種×22	1 式	天井埋込スピーカ、ジャック盤 C、 D(配管配線共 2008 年更新)を除き、 既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に 普及しているものとする。 カセットは不要とする。 スプリアス規定により更新済みの 800MHzB 帯送信機は、既設流用とする。
1号館 3F 135 会議室 機器	ポータブルアンプ、ワイヤレスマイク、ピンマイク	1 式	既設のままとする。(2019 年更新)
1号館 4F 141+142 会議室 機器	操作ワゴン×2 天井埋込スピーカー×8 ジャック盤 C×1 (141) ジャック盤 D×1 (142) サブミキサ×2 マルチコンセント×1	1 式	天井埋込スピーカ、ジャック盤 C、 D(配管配線共 2008 年更新)を除き、 既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に 普及しているものとする。 カセットは不要とする。

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
	マルチボックス×1 マイクコンセント×7 ワイヤレスマイクハンド×4 ワイヤレスマイクタイピン×4 ワイヤレスアンテナ×4 有線マイク×10 マイクスタンド 卓上×12、フロア×10 8ch マルチケーブル(10m)×2 マイクケーブル (5m×5、10m×15、15m×7、20m×3) パッチケーブル(2m)×22 変換ケーブル各種×15		スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用とする。
1号館 4F 143 会議室 機器	ポータブルアンプ、ワイヤレスマイク、ピンマイク	1 式	既設のままとする。(2019年更新)
2号館 1F 211～212 展示室 機器	機器収納架×1 ワゴン卓×3 ワゴン卓接続パネル×4 天井スピーカ×14 マイクコンセント×4 ワイヤレスマイク B帯 800MHz 受信機×4ch ハンドマイク×4 ピンマイク×4 アンテナ×4 ダイナミックマイク×14 マイクスタンド 卓上×8、フロア×8、ポール×8	1 式	既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。 カセットは不要とする。 スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用とする。
2号館 1F 213 会議室 機器	ポータブルアンプ、ワイヤレスマイク、ピンマイク	1 式	既設のままとする。(2019年更新)
2号館 2F 221 会議室 機器	ワゴンアンプ×1 ワゴンアンプ接続盤×1 天井スピーカ×4 マイクコンセント×3 ダイナミックマイク×5 ワイヤレスマイク C帯 300MHz 受信機×2 ハンドマイク×2 ピンマイク×2 マイクスタンド 卓上×4、フロア×2、ポール×4 マイクケーブル各種×11 変換ケーブル各種×4	1 式	既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。 カセットは不要とする。
2号館 2F 222～223 会議室 機器	機器収納架×1 ワゴン卓×2 ワゴン卓接続パネル×2 天井スピーカ×8 マイクコンセント×4 ワイヤレスマイク B帯 800MHz アンテナ×4 ハンドマイク×4 ピンマイク×4 ダイナミックマイク×12	1 式	既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。 カセットは不要とする。 スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用とする。

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
	マイクスタンド 卓上×8、フロア×4。ポール×8 マイクケーブル各種×20 変換ケーブル各種×14		
2号館 2F 224 会議室 機器	機器収納架×1 機器収納卓×1 ワゴン卓×2 ワゴン卓接続パネル×2 天井スピーカ×10 マイクコンセント×4 ワイヤレスマイク B帯 800MHz アンテナ×4 ハンドマイク×4 ピンマイク×4 ダイナミックマイク×12 マイクスタンド 卓上×9、フロア×6。ポール×9 ポータブルアンプ×2 マイクケーブル各種×23 8ch マルチケーブル×2 変換ケーブル各種×16	1 式	既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。 カセットは不要とする。 スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用とする。
2号館 2F 225 会議室 機器	ポータブルアンプ、ワイヤレスマイク、ピンマイク	1 式	既設のままとする。(2019年更新)
2号館 3F 231 会議室 機器	ワゴンアンプ×1 ワゴンアンプ接続盤×1 天井スピーカ×4 マイクコンセント×3 ダイナミックマイク×5 ワイヤレスマイク C帯 300MHz 受信機×2 ハンドマイク×2 ピンマイク×2 マイクスタンド 卓上×4、フロア×2、ポール×4 マイクケーブル各種×11 変換ケーブル各種×4	1 式	既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。 カセットは不要とする。
2号館 3F 232～233 会議室 機器	機器収納架×1 ワゴン卓×2 ワゴン卓接続パネル×2 天井スピーカ×8 マイクコンセント×4 ワイヤレスマイク B帯 800MHz アンテナ×4 ハンドマイク×4 ピンマイク×4 ダイナミックマイク×12 マイクスタンド 卓上×8、フロア×4。ポール×8 マイクケーブル各種×23 変換ケーブル各種×14	1 式	既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。 カセットは不要とする。 スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用とする。
2号館 3F 234 会議室 機器	機器収納架×1 機器収納卓×1 ワゴン卓×2	1 式	既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
	ワゴン卓接続パネル×2 天井スピーカ×10 マイクコンセント×4 ワイヤレスマイク B帯 800MHz アンテナ×4 ハンドマイク×4 ピンマイク×3 ダイナミックマイク×12 マイクスタンド 卓上×8、フロア×5。ポール×8 ポータブルアンプ×1 マイクケーブル各種×24 変換ケーブル各種×15		カセットは不要とする。 スプリアス規定により更新済みの 800MHzB帯送信機は、既設流用とす る。
4号館 3F 431～432 会議室 機器	機器収納架×1 ワゴン卓×2 ワゴン卓接続パネル×2 天井スピーカ×10 マイクコンセント×4 ワイヤレスマイク B帯 800MHz アンテナ×4 ハンドマイク×4 ピンマイク×4 ダイナミックマイク×14 マイクスタンド 卓上×8、フロア×4 マイクケーブル各種×17 8ch マルチケーブル×1 変換ケーブル各種×14	1式	既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に 普及しているものとする。 カセットは不要とする。 スプリアス規定により更新済みの 800MHzB帯送信機は、既設流用とす る。
4号館 3F 433 会議室 機器	ポータブルアンプ、ワイヤレスマイ ク、ピンマイク	1式	既設のままとする。(2019年更新)
4号館 3F 435 会議室 機器	ポータブルアンプ、ワイヤレスマイ ク、ピンマイク	1式	既設のままとする。(2019年更新)
4号館 3F 438 会議室 機器	なし	1式	既設では倉庫として使用している が、会議室として貸し出せるように 整備すること。(条例の変更につい ては市と協議を行う。) 音響システムは 221 会議室と同程度 のスタンドアローン型とする。
その他の予備機器 2号館 2F、3F 事務所	ダイナミックマイク×15 ワイヤレスマイク B帯 800MHz ハンドマイク×3 ピンマイク×5 ワイヤレスマイク C帯 300MHz ハンドマイク×9 ピンマイク×8 受信機×8 マイクスタンド 卓上×11 辺間ケーブル各種×41	1式	既設でまだ新しいものについては、 予備として残置する。 古いものについては更新し、予備の 機器全体として全館の音響機器の急 な不具合に備えること。

## 7. 映像機器

基本方針として、センチュリーホールとイベントホールは常設もしくは貸し出し用のプロジェクターを設けずに、利用者の持込とする。その他の白鳥ホール、国際会議室、レセプションホール、展示室、諸会議室では、仮設して使える移動型のプロジェクターを備えること。事業期間中に不具合の発生した機器は、適宜修繕もしくは更新すること。

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
プロジェクター	DLP8200lm(Panasonic PT-DX810)×1 DLP8200lm(Panasonic PT-DX820)×1 DLP4500lm(三菱 LVP-XD3200)×9 DLP6500lm(Panasonic PT-DX610S) ×1 DLP8200lm(Panasonic PT-DX820JLB) ×2 液晶 12000lm(SANYO LP-XF1000)×1 液晶 5200lm(SANYO LP-X31)×1 液晶 5000lm(SANYO LP-XP56)×1 液晶 4500lm(SANYO LP-XP55)×1 液晶 4200lm(NEC MT1075J)×3 液晶 3300lm(SANYO LP-XP41)×2 液晶 3000lm(SANYO LP-XG3000)×1 タラリア×1	1 式	DLP の全て及び液晶 12000lm を既設同等で更新。タラリアは廃棄、その他は既設のまま残置とする。 但し、同等の大きさであれば光束数(lm)は多い方が望ましい。 貸し出しを想定した室に合わせたレンズを備えること。 色の再現性を重視し、液晶よりもDLPを優先すること。 更新するプロジェクターで比較的新しいものは、予備として残置する。
プロジェクター用ケーブル	アナログ RGB 用 VGA ケーブル (諸会議室) 1.5m×2、2m×16、10m×27 (白鳥ホール、国際会議室) 1.5m×1、2m×4、3m×1、5m×1 10m×3 アナログ RGBHV 用 5BNC-5BNC 50m ドラム×2、30m ドラム×2 5m×2、3m×1、1m×1 デジタル HDMI 用 15m×14	1 式	既設同等で更新。 但し、今後の接続機器の出力傾向と利用頻度に合わせ、デジタル HDMI 用を適宜増やす事。
スクリーン	吊下式スクリーン 5.1m×3.8m(250 インチ)×2 ロール式スクリーン 6.9m×6.2m×2 組立式スクリーン 6.1m×4.6m(300 インチ)×2 3.6m×2.9m(185 インチ)×1 2.9m×2.1m(140 インチ)×4 4.3m×3.2m(210 インチ)×4 4.3m×3.0m(200 インチ)×7 3.0m×2.1m(140 インチ)×8 3.05m×2.3m(150 インチ)×2 三脚式スクリーン 2.1m×2.1m(100 インチ)×41	1 式	既設同等で更新。但し原則としてアスペクト比は 16:10 とする。ロール式は幅一杯のホワイト部に対し、アスペクト比 4:3 の高さを持つこと。 (建築に固定の電動巻取式スクリーンは建築工事もしくは舞台設備工事を参照の事。)
録画機	VTR デッキ×14 ビデオプレーヤ×1 BNC-RCA ケーブル×18	1 式	撤去とする。(条例の変更について市と協議すること。)
テレビモニター	VDT(780×442)×17 VDT(750×422)×2 テレビ台(W1000×D650×H1200)×18 映像信号分配器×6 BNC ケーブル×32 S 端子ケーブル×7	1 式	撤去とする。(条例の変更について市と協議すること。)